



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和6年11月1日（金）岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
危機管理政策課	原子力防災室	伊藤	内線 2822 直通 058-272-1134 FAX 058-278-2524

令和6年度 岐阜県原子力防災訓練を実施します

県では、原子力災害発生時における県の初動体制と本部運営体制の確認や国・県・市町村・関係機関の連携体制の強化を図るため、下記のとおり原子力防災訓練を実施します。

当日は、揖斐川町において、住民参加による一時移転訓練をUPZ（緊急時防護措置準備区域）外の地域も含めて実施するほか、避難退域時検査・簡易除染訓練や、県内各地における空間放射線量率を測定する訓練などを実施します。

※取材にあたっては、別添「令和6年度 岐阜県原子力防災訓練 参考資料編」をご参照ください。

記

1 日時 令和6年11月16日（土） 7：30～12：00
原子力災害医療訓練は、11月10日（日）9：00～11：30

2 主催 岐阜県、揖斐川町

3 訓練の概要

福井県内の地震により関西電力(株)美浜発電所3号機において、原子力災害が発生した想定で、関係機関等と連携し、災害対応を行います。

(1) 災害対策本部訓練

①本部員会議訓練（11：30～12：00）

内容	○揖斐川町災害対策本部において、UPZを含む坂内地域住民の一時移転に向けた準備・体制を検討 ○国からの一時移転指示を受けて開催する本部員会議において、TV会議システムにより町の検討結果の報告を受け、その状況を踏まえ一時移転の実施方針を決定 ※知事出席
場所	○県庁5階災害対策本部室、揖斐川町役場

②災害対策本部訓練（8：30～12：00）

内容	○県災害対策本部に参集した緊急対策チームが、国のオフサイトセンターや原子力事業者から送られる情報を整理し、関係機関へ伝達するとともに、県の一時移転実施方針案を作成
場所	○県庁5階災害情報集約センター、揖斐県事務所、揖斐川町役場

(2) 現地実動訓練

①屋内退避及び放射線防護施設の設備操作・維持訓練（7：30～7：45）

内容	○揖斐川町坂内川上地区住民による屋内退避（放射線防護施設への退避） ○放射性物質が建物内へ流入することを防ぐ陽圧化装置 ^(※) の緊急時起動手順の確認 ○陽圧化装置起動に伴う施設内の維持管理方法の確認
場所	○川上集会場（揖斐川町）

(※) 放射性物質を含んだ外気の侵入を防ぐため室内の気圧を外部より高くする装置

②一時移転訓練（7：45～11：30）

内容	○バスによる一時移転対象者の避難退域時検査会場・避難所への移送 ○自衛隊車両による体調不良者の避難退域時検査会場・避難所への移送 ○県警パトカーの先導及び交通規制の実施 ○避難所開設、運営（11：10～11：30）
場所	○川上集会場⇒坂内交流センター⇒揖斐川健康広場⇒揖斐川町役場（揖斐川町） ※坂内交流センター⇒揖斐川健康広場はパトカー先導

③緊急時モニタリング訓練（8：30～12：00）

内容	○県内全域での固定型モニタリングポストによる空間線量率の測定 ○県が設定したモニタリングルート上の測定地点を職員が巡回し、空間放射線量率を測定 ○揖斐川町坂内川上地区に可搬型モニタリングポストを設置 ○揖斐川町内における環境試料の採取。県保健環境研究所における放射性物質の測定・分析
場所	○県内全域、県庁5階災害情報集約センター、県保健環境研究所(各務原市)

④屋内退避広報訓練（8：00～9：00）

内容	○揖斐川町において、様々な手段（防災行政無線、個別受信機、広報車、エリアメール、情報配信アプリ）を用いた屋内退避実施の広報
----	---

⑤安定ヨウ素剤模擬服用訓練（7：30～11：30）

内容	○住民用の安定ヨウ素剤の模擬調合 ^(※1) ○医師による服用対象者への模擬問診、安定ヨウ素剤の配布 ^(※2)
場所	○【ヨウ素剤調合】揖斐総合庁舎（西濃保健所揖斐センター） ○【ヨウ素剤配布】坂内交流センター（揖斐川町）

(※1) 少量服用の子供や、錠剤服用が困難な高齢者用に、安定ヨウ素剤内服液を作成

(※2) 住民には、安定ヨウ素剤に見立てた「飴」を配布

⑥避難退域時検査^(※)・簡易除染訓練（9：15～11：00）

内容	○表面汚染検査用の測定器、車両用ゲート型モニタを使った避難退域時検査 ○住民の汚染検査及び簡易除染、拭き取りによる車両除染
場所	○揖斐川健康広場

(※) 原子力災害時に一時避難等の指示を受けた住民の汚染状況を確認することを目的として行われる検査

⑦原子力災害医療訓練（11月10日（日）9：00～11：30）

内容	○原子力災害拠点病院（岐阜大学医学部附属病院）における汚染傷病者の受入れ訓練
場所	○岐阜大学医学部附属病院

⑧避難者情報管理システム^(※)を活用した実働訓練（8：10～11：00）

内容	○避難者情報管理システムを活用し、安定ヨウ素剤配布会場等の各施設における住民の受付情報や避難退域時検査情報をシステム上に登録
場所	○坂内交流センター、揖斐川健康広場

(※) スマートフォン等のデバイスを使用し、個人を識別・認証する方法を用いて、県や市町村が住民の避難者情報を瞬時に把握し、集計、共有するシステム

⑨住民への普及啓発（9：15～10：30）

内容	○県の原子力防災に関するパンフレットを配布し、普及啓発講座（能登半島地震における被害状況、放射線や原子力防災に関する基礎知識）を開催
場所	○坂内交流センター

(3) 付帯訓練

①屋内退避広報訓練（8：00～11：30）

内容	○原子力災害対策強化地域内で希望する市町と連携した、屋内退避広報の図上訓練
場所	○本巣市

4 参加・協力機関（順不同）

岐阜県警察、静岡県、揖斐川町、本巣市、内閣府、原子力規制庁、陸上自衛隊第35普通科連隊、自衛隊岐阜地方協力本部、揖斐郡消防組合消防本部、揖斐郡医師会、揖斐郡薬剤師会、岐阜県診療放射線技師会、岐阜大学医学部附属病院、関西電力(株)、中部電力パワーグリッド(株)、岐阜県バス協会等 参加者：約460名

5 その他

- ・取材にあたっては、自社腕章等の着用をお願いします。
- ・各訓練場所での取材に際しては、各係員の指示に従ってください。
- ・大規模災害の発生やその恐れ、県内での気象警報発表等の場合には、訓練を中止することがあります。その際は、11月16日（土）6時までに、県政記者クラブ加盟各社へFAXによりご連絡します。
- ・訓練の実施場所や時間、内容、取材可能地点などの詳細については、別添資料をご確認ください。

連絡先（訓練全体）原子力防災室

田口室長 080-8261-1781

伊藤係長 080-8979-6230

県災害対策本部：災害情報集約センター
058-272-1034

避難退域時検査・簡易除染訓練の連絡先

医療整備課（草野） 050-5601-2748

原子力災害医療訓練の連絡先

岐阜大学医学部附属病院経営管理課（安藤） 058-230-6011